



# mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



## 総体熱戦 (半分) 観戦記



円陣を組んで気合いを入れるバスケットボール部員



18～20日は、備前東地区夏季総体でした。

19日は雨模様で、女子ソフトテニスの団体戦が午後から開催(何か懐かしい響き：苦笑)となりましたが、無事全種目終了したようです。

伊里中学校運動部員も、各地で全力で頑張りました！

予定どおり、校長先生と打ち合わせをして、各会場を回って行きました。私の方は、今回は「女子バスケットボール」「ソフトテニス」「卓球」と回って行きました。

どの会場も、中学生の熱い思いと鍛えられた技とがぶつかり、気合いを入れる声や応援の声も相まって、熱気最高潮！でした。

女子バスケ部の2回戦、後半の怒濤の追い上げに胸が熱くなり、卓球男子団体の2試合目、2対2で迎えた最終組も2-2のフルセット、5セットめのジュースの連続と言う激闘に手に汗を握り、そして女子ソフトテニス個人戦の優勝に狂喜乱舞し



優勝決定の瞬間と表彰式



ダブルス・シングルの熱戦中



ました。本当に良い場面を見ることができました。もちろん、これ以外でも、ありとあらゆる場面で、同じように一生の財産となるような瞬間瞬間の連続があったのではないのでしょうか。

歓喜にあふれる涙、悔しさからの号泣の涙、涙は見せなくとも、胸の奥にこだまする悔しさの叫び…この日は、まさにそんな「万感の想い」にあふれ返っていたことでしょう。

悔しさが過ぎた後は、みんなすぐに通常的笑顔に戻ったと、それぞれの顧問の先生に聞きました。必死でやってきたからこそ、結果が出た時はその結果に対し一時的な激情に襲われます。しかし、その激情が過ぎれば、すぐに日常の普段の顔に戻れる…それが大切なことであり、それができる限り、今までやって来たことが間違いではなかったことの証明となるのだと思います。

みんな本当にお疲れ様でした！よく頑張りました！！とりあえずの速報でした。

